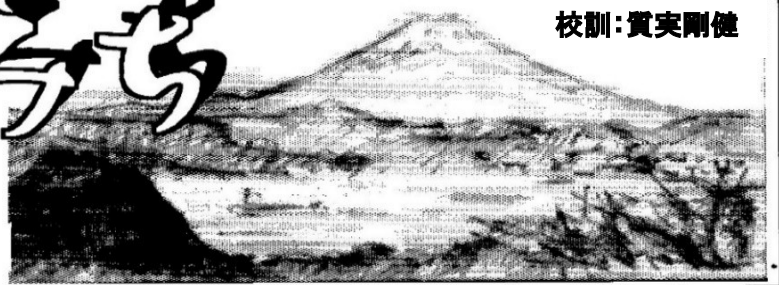


さかみち

大島町立第二中学校校報
通巻 459 号 12月24日

令和7年度第 8号
校訓: 質実剛健



読書力は継続なり

校長 牧野英一

12月19日(金)5・6時間目、全校ビブリオバトルを実施し今年も各学年から選ばれた代表生徒が、自分の好きな本を表現力豊かに紹介してくれました。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」がキャッチコピーでもあるビブリオバトル、発表者の本の好みだけでなく、その人の考え方や価値観を知ることができ言葉の力を強く感じました。

さて、文化庁の16歳以上を対象とした「国語に関する世論調査」で、「月に1冊も本を読まない」と答えた人が、過去最高の62.6%に達しているという報告がありました。若者の多くはニュースや情報を文章で読むよりも、SNSの短い投稿や動画から得る傾向を強めており、読むこと自体が日常から抜け落ち、即時の反応が生活の中心に置き換わりつつあります。今ではほとんどの小中学校で朝読書に取り組んでおり、小学生までの読書量は確保されているようですが、中高生から特に大学生になるとほとんど本を読まなくなっているという傾向もあるようです。

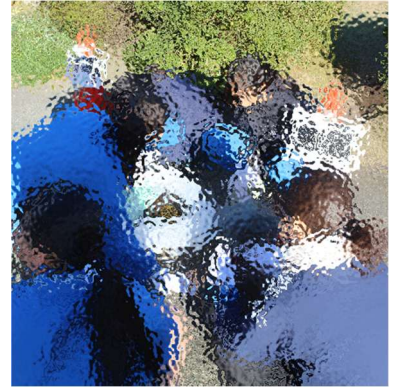
本はなぜ読まなければいけないのか。以前読んだ本の中に明治大学教授である齋藤孝先生の著書『読書力』がありますが、その答えが明確に書かれていました。「本はなぜ読まなければいけないのか。それは、価値観や倫理観を吸収することで自分を作る最良の方法だからである。そして、言葉を多く知ることができ、コミュニケーション力が格段にアップする。つまり、会話の質が変わってくる。人間の幅を広げ、器を大きくしてくれるからこそ読書力が必要である」と。特に「読書力は長距離のランニングや歩行に似ている。取り立てて足が速い必要はない。毎日走って、少しずつ距離を伸ばしていけば、かなりの人が長距離走のランニングに耐えることができる。運動神経がよい人でも、長距離の練習を日々積んでいない場合には、練習を日々積んできた素質の低い人よりパフォーマンスは低くなる。読書はまさに『継続は力なり』がリアリティをもつ世界だ。だからこそ、4年間のうちに150冊といった読書量を読書力の基準として挙げたのである」と書いていたところに説得力を感じました。

11月、齋藤先生と東京都島しょ校長会研修会で実際にお会いすることができましたが、高校1年生の時に転機があったそうです。それは3学期の地理の授業、すべてを読書時間にあてることとなり、家から持ってきた本を75分間ただ読み続けました。それがきっかけとなり読書量が増えていったそうです。シンプルな読書指導でしたが、この効果は全員にあったと聞きました。「読書力がある」ということは読書習慣があるということです。読書が苦にならずに日常で何気なくできる力、これが読書力です。この読書力を是非とも中学生で身に付けてくれることを願っています。

年末年始を控え、各ご家庭でもその準備のために忙しい時をお過ごしになり、子供たちの大掃除や年始の挨拶など、家庭での役割を果たしながら大きな節目を迎えます。このような時こそ、落ち着いた中で一年を振り返り、新たな目標を立てさせたいものです。新年もどうぞよろしくお願いいたします。

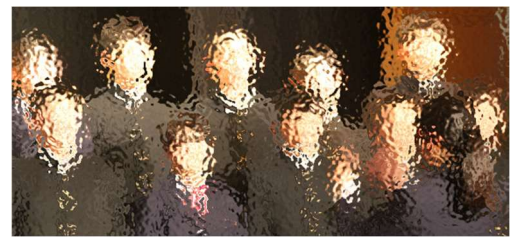
◇ 地域清掃 12月5日 ◇

晴天の中、地域清掃を実施しました。道ばたにはあまりゴミがないように思いきや、草むらの中を覗くと、大量のゴミが見つかりました。子供たちは果敢にゴミを集め、地域に貢献できたのではないのでしょうか。生徒の皆さん、お疲れ様でした。ご協力いただいた保護者の皆様も、ありがとうございました。



◇ 連合音楽会 12月9日 ◇

12月9日（火）開発総合センター 大集会室に、中学校3校が集まり、連合音楽会が開催されました。人数が少なく練習時間も限られた中でしたが、会場全体に音を響かせ、気持ちを込めて発表しました。また、他校の合奏・合唱も聴き、大いに刺激をもらえた一日となりました。ご参観いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。

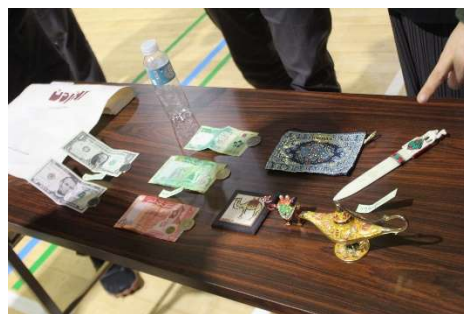


海メドレー

- | | | | |
|---------|--------------|--------------|---------|
| ①海の声 | ②パート・オブ・ワールド | ③アゲイン・ザ・シー | ④カリブ夢の旅 |
| ⑤カリブの海賊 | ⑥彼こそが海賊 | ⑦Island Blue | |

◇ みんなが先生 12月12日 ◇

12月12日（金）には、進路学習の一環として「第2回みんなが先生」を実施しました。今回のゲストティーチャーは、本校卒業生の****さんです。大島高校に進学してから約2年間で感じたことや、大島高校の特色や魅力、進路選択のアドバイスなどを、実体験を元に生の声で伝えてくれました。また、派遣事業制度を利用したヨルダンへの短期留学を通して感じたことやたくさんの学びを、スライドとともに話してくれました。自分から動いてやりたいことを積極的に見つけていくという五味さんの姿勢に、生徒は真剣なまなざしで聞いていました。



◇ 全校ビブリオバトル 12月19日 ◇

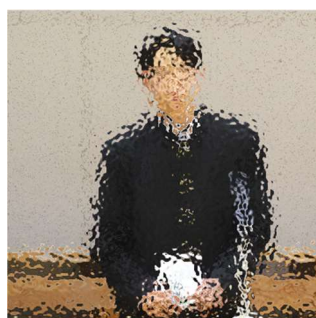
国語の授業を通して本の良さを伝えるために各自が1冊を選んで、学年ごとにビブリオバトル予選を行いました。その中で選ばれた各学年の代表者が、全校ビブリオバトルで1冊の本のすばらしさを5分間でプレゼンしました。「どの本が読みたくなったか」を基準とした投票で、最多票を集めた本が本校の「チャンプ本」となります。

今年度は、3年****さんが紹介した『世界でいちばん透きとおった物語』が見事チャンプ本に選ばれ、2年****さんが紹介した『変な家』が準チャンプ本に決まりました。代表に選ばれたスピーチはどれも興味深く、今すぐにも読んでみたいとなりました。

《チャンプ本》 3年 ****

「世界でいちばん透きとおった物語」

（杉井光 2023年 新潮社）



《準チャンプ本》 2年 ****

「変な家」

（雨穴 2021年 飛鳥新社）



～ 各学年代表者 ～

3年 ****	「世界でいちばん透きとおった物語」	杉井光	新潮社、2023
3年 ****	「殺人事件に巻き込まれて走っている場合ではないメロス」	五条紀夫	KADOKAWA、2025
2年 ****	「檸檬のころ」	豊島ミホ	幻冬舎、2005
2年 ****	「変な家」	雨穴	飛鳥新社、2021
1年 ****	「ガリガリ君ができるまで」	岩貞るみこ	講談社、2020
1年 ****	「人は話し方が9割」	松永茂久	すばる社、2020
1年 ****	「5分後に意外な結末～バラ色の、トゲのある人生～」	桃戸はる	学研プラス 2018

1月の行事予定

学校教育目標：のびやかで、あたたかい心
深く考え、自ら学ぶ力
健やかな身体とたくましい体力

日	曜	行事	給食	日	曜	行事	給食
1	木	元日		17	土		
2	金			18	日		
3	土			19	月	朝礼	◎
4	日			20	火	2年職場体験(給食なし)	◎(給食)
5	月			21	水	ALT 職員会議	◎(給食)
6	火			22	木	SC	◎(給食)
7	水			23	金		◎
8	木	SC 始業式 専門委員会	×	24	土		
9	金	道徳授業地区公開講座	◎	25	日		
10	土			26	月	講話朝礼 避難訓練	◎
11	日	大島町二十歳を祝う会		27	火	脊柱側湾検査	◎
12	月	～成人の日～		28	水	ALT 小中連携研修	◎
13	火	生徒朝礼 1年職場訪問	◎	29	木		◎
14	水	ALT	◎	30	金	SC	◎
15	木		◎	31	土		
16	金	SC 連合作品展見学	◎				

◇ 1年 職場訪問 ◇

今後の進路選択に役立てることを目的に、1月13日(火)に職場訪問を実施します。
実際に働く方の姿や現場を見学させていただくとともに、インタビューをとおして、仕事のやりがいや苦労などについて学びます。
生徒たちにとって、将来の自分について考える貴重な機会です。ご協力をよろしくお願いします。

◇ 2年 職場体験 ◇

1月20日(火)から22日(木)の3日間、島内の事業所で職場体験を実施します。実際の職業を体験することで、今後の進路選択に役立てるとともに、自分の適性を知ったり、責任や働くことの意義を学んだりします。また、場に応じた言葉遣いや礼儀作法等についても学びます。
ご協力いただく事業所の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 道徳授業地区公開講座 ◇

日 時：1月9日(金)
13時15分から14時05分
会 場：各教室
内 容：学年による道徳の授業
*授業の後、保護者・地域の皆様との意見交換会を技術室で実施しますのでご参加ください。
14時15分から15時05分

◇ 大島町立小中学校連合作品展 ◇

日時：1月16日(金)～20日(火)
会場：開発総合センター
*美術科、技術科、家庭科、文化部の作品が展示されます。ぜひ、ご鑑賞ください。

～ P T A 役員からのお知らせ ～

○大島PTA連合会広報誌「いずさ」の原稿の募集案内が届いております。テーマは自由です。ご希望の方は副校長までお問い合わせください。(1月17日原稿〆切)

